

全国大学書道学会

会報

8

平成22年(2010)
3月31日発行
全国大学書道学会

御挨拶

幹事長 平形 精一

本年度の大学三学会は新型インフルエンザ流行の中、広島大学が当番校となり安田女子大学を会場として開催されました。松本仁志・信廣友江両先生を中心とした関係者各位に厚く御礼を申し上げます。

両大学名から思いおこされるのは戦前・戦後にわたって教科書執筆に多大な貢献をされた井上桂園先生の存在です。先生はかつて本学会草創期の会長でもあられましたが、私が小学校の時使用した「かきかた」(中教出版)の筆者でもあり、寸分の乱れもない字形と品位ある線質による毛筆手本は、どれをとっても目映いものばかりでした。子供ながらに「習字手本の極則」ともいべき整斉美に感動を覚えたものです。当時五・六年には行書もあり、「落ちぼを拾う」や細字の「いろは四八文字」等の教材は今でも脳裏に焼きついていきます。私の習字力の体得は父親からの特訓によるものですが、その後、井上本への憧憬が原風景として生き続けていたといっても過言ではありません。そのことが書の道へすすむ契機になったと思っています。

さて、本会の紀要に査読制度が導入されて早や八年目を迎えました。その観点は規定に挙げるように五項目から成りますが、いざ論文を前にしますと、学術委員の見解や評価に温度差が生じることは否めません。

今回の委員会でのこと、翻訳した文章をそのまま引用した論考に対し、ある委員から、原文を自分で訳したものではないがとの指摘がありました。翻訳も自分の力によるのが学術論文作成の常識だとすると当然の疑念でありましょう。実作と共に歩む本会の目的から、他学会並の厳密さを要求することへの躊躇と、そのことが学術水準を下げるのではないかとの懸念が交錯する中で、今回は取りあえず原文を併記していただくことで妥協点を見出しました。

原文を自身で翻訳することは、馴しみある漢文・古文ならまだしも、英語・独語等となると容易ではありません。慣れない辞書を片手に奮闘した結果よりも、専門家の知見による自信に満ちた解釈の方が正鵠を得ているにちがいないの思いは誰もが抱くことでしょう。しかし、すべて著者の力量によって仕上げることを信条とする学術論文にあつては、欧文翻訳といえども可能な限り原文にあたり自分の責任で対処していただくこととなります。

私事になりますが、教育を視野に入れながら書の造形性解明にヒントを求め、以前から芸術心理学者アルンハイムの翻訳書を愛読しています。しかし、力不足のため日本語であつても理解できない箇所があるので、まして原書講読にまで及ぶべくもありません。『まず隗より始めよ』と言われれば返す言葉もないわが身ですが、厳しい条件を掲げたことで欧文翻訳をもとにして展開する創造的なテーマが敬遠されるとなると元も子ありません。二十一世紀に生きる書学の構築のために、書作に連動する感性に裏打ちされた学際的な論考にも強い期待を寄せています。



大会記念対談

平成二十一年度 大会報告

広島大会実行委員会

平成二十一年十月二十四日、広島市・安田女子大学において、本年度の総会および研究発表大会、会員書作展が開催された。

本大会は初の「広島大会」であり、そして初の「国立」広島大学と、「私立」安田女子大学の二大学が開催大学を務める大会であった。学会事務局との連絡ほか、全体統括者として、広島大学松本仁志先生が常に適切な指示を下さり、会場校として、安田女子大学の四名の教員が、全体調整、庶務、展示関係その他、それぞれ係を分担し、相互に連携をとりながら運営を行った。

当日は、総会、研究発表ともに、円滑に進行した。また、例年行われる記念講演について、本年は対談の形式をとり、広島大学・白須浄真先生、安田女子大学・萩信雄により、「西域出土文書と蘭亭問題」のテーマで記念対談を行った。地元の小・中・高校の先生方の参加もあり、多くの方に関心を持っていただけたのではないかと思う。本大会ではこのほか、金石碑帖善本展を行い、古硯、秦漢古銅印、高貞碑、龍門造像記等拓本ほか、名品を展示した。

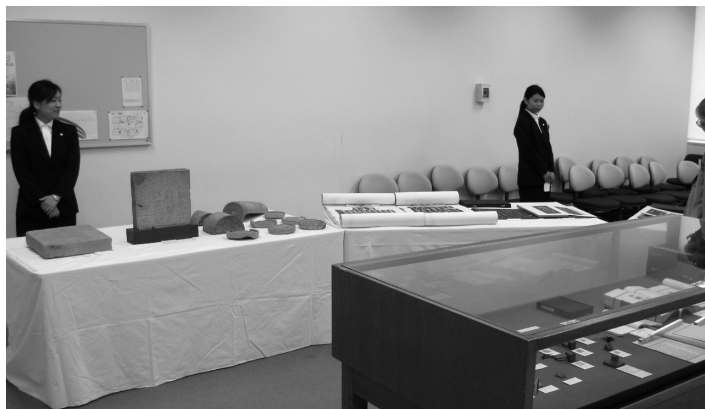
学会会場としたのは円形の薬学部棟で、中央に広いアトリウムがあり、その周囲を講義室が囲む形になっている。



会員書作展

る。会員書作展は、このアトリウムにパネルを配置して展示コーナーとした。また、総会、研究発表会場、金石碑帖善本展は、周囲の講義室を活用し、救護室、控え室等もすべて同じ一階フロアと二階に準備した。こうしたさまざまなスペースをまとめた場所に配置することができたので、参加者の皆様にとってわかりやすい会場設定になったのではないかと思う。限られた休憩時間にも、書作展見学、名品鑑賞を適宜楽しんでくださっている姿を拝見し、安堵した次第であった。また、昼食には薬学部棟前の食堂を利用いただき、夜の懇親会場も同じ食堂とした。決して贅沢で華やかという訳にはいかないけれども、和やかな、普段のままの安田女子大学を見ていただけたのではないかと思う。今回、こうした足回りの楽な、動線が近いところでの大会運営を心掛けたのであるが、こじんまりした私立大学ならではのよさが活かせたとしたら幸いである。

また、このたびは多くの学生たちが、係を分担して運営にあたった。安田女子大学書道文化専攻では、こうした行事がある場合には、いつも学生たちが自主的に参加してくれる。とはいっても、一、二年生には不慣れな者も多く、手間取りながらの対応で、ご迷惑をおかけすることも多々あったのではないかと心苦しく思う。それも含め、学生たちにとって、すべてが貴重な体験であり、さらに今回は、研究発表の聴講や書展の見学もさせていただく等、かけがえのない多くの学びの機会を賜った。心より厚く御礼を申し上げます。（信廣 友江 記）



金石碑帖善本展

全国大学書道学会 平成21年度（広島）大会 次第

日 時 平成21年10月24日（土）
会 場 安田女子大学
開催大学 安田女子大学／広島大学

●9:00 受付（参加費 会員4,000円 準会員（大学院生）2,000円）

●9:30 開会式／総会（9154教室） 総合同会 事務局

1. 開会のことば	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2. 開催大学あいさつ	吉野 昌昭 先生
3. 会長あいさつ	野中 浩俊（新潟大学名誉教授）
4. 幹事長あいさつ	平形 精一（静岡大学）
5. 議 事	議 長 竹之内裕章（佐賀大学）
1) 平成20年度事業報告 → 資料1	鈴木 晴彦（日本大学）
2) 平成20年度決算報告 → 資料2	柿木原くみ（相模女子大学）
3) 平成20年度監査報告	大橋 修一（埼玉大学）
4) 平成21年度事業計画（案）→ 資料3	鈴木 晴彦（日本大学）
5) 平成21年度予算（案）→ 資料4	柿木原くみ（相模女子大学）
6) 役員の改選について	平形 精一（静岡大学）
7) その他	
6. その他	
1) 学会誌について	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2) 次年度開催大学あいさつ	辻井義昭（北海道教育大学札幌校）
	松本 仁志（広島大学）
3) 入会員紹介 → 資料5	事務局
4) その他	
7. 閉会のことば	鶴田 一雄（新潟大学）

●10:30～12:10 研究発表（1）

【第1会場（9号館 9154教室）】 司 会：森上 洋光（四国大学）

10:30～11:00

傅山と王鐸の長条幅作品に関する一考察 —臨書作品に着眼して—

新潟大学大学院修士課程 福田 紗季

11:05～11:35

書論に見る楷書の結構法に関する一考察 —欧陽詢『三十六法』の分析を通して—

静岡大学非常勤講師 見城 正訓

11:40～12:10

プロポーショナルな縦組み仮名フォントに関する考察

名古屋市立大学研究員 沓名健一郎

【第2会場（9号館 9153教室）】 司 会：小西 憲一（香川大学）

10:30～11:00

森田竹華の作風変遷に関する一考察 —熊谷恒子との比較を通して—

新潟大学大学院修士課程 平馬季三代

11:05～11:35

日本近代の展覧会制度における篆刻の位置付け —彫刻から書へ—

鷗友学園女子中学校高等学校講師 柳田 さやか

11:40～12:10

「伝西行筆」の古筆の発生 —伝西行筆の私家集を中心に—

広島大学大学院博士後期課程 塩出智代美

●12:10 記念撮影

●12:30～13:20 昼 食

●13:20～14:50 大会記念対談（9号館 9154教室）

演 題「西域出土文書と蘭亭問題」 講 師：白須 淨真（広島大学講師）

萩 信雄（安田女子大学教授）

コーディネーター：大橋 修一（埼玉大学教授）

●15:00～16:00 研究発表（2）

【第1会場（9号館 9154教室）】 司 会：日比野貞勝（広島文教女子大学）

15:00～15:30

日本花押の発祥と展開における、密教思想及び梵字悉曇書法の影響について

早稲田大学非常勤講師 綾部 宏行

15:30～16:00

南北朝墓誌銘所見の經典引用と撰文者の学風—皮錫瑞の今文・古文分類法を援用して—

愛媛大学准教授 東 賢司

●16:00 分科会報告

●16:10 閉 会

資料 1 平成20年度 全国大学書道学会 事業報告 → 承認

(平成20年) 4 月 26 日	常任幹事会／三学会合同役員会 (平成20年度佐賀大会について)
5 月中旬	佐賀大会第 1 次案内作成
5 月 20 日	佐賀大会要項 (第 1 次)、会員書作展出品要項、会員書作展図録、学会誌会員票 (はがき)、 会費払込用紙 等 発送
6 月 16 日	佐賀大会研究発表応募締切日
6 月下旬～ 7 月中旬	研究発表採否確認
7 月 10 日	会員書作展作品送付締切日
7 月 13 日	常任幹事会／三学会合同役員会 (佐賀大会、発表者及び発表順、総会議事案、役員改選等 について)
7 月 21 日	研究発表採否通知
8 月 5 日	佐賀大会要項 (第 2 次)、発表要旨集発送
9 月 10 日	学会誌論文投稿申込締切日
9 月 17～21 日	平成20年度会員書作展 (小城市小城公民館)
9 月 18 日	幹事会 (佐賀大会総会議事検討)
9 月 19 日	平成20年度 (佐賀) 大会 (総会、研究発表、講演)／三学会合同懇親会
10 月 20 日	学会誌投稿論文受付締切日
10 月下旬～11 月中旬	研究発表論文査読
12 月 6 日	常任幹事会 (査読結果及び学会誌について)
(平成21年) 1 月～ 2 月	学会誌編集
3 月 14 日	常任幹事会／三学会合同役員会 (佐賀大会反省、21年度広島大会について)

資料 2 平成20年度 全国大学書道学会 決算報告 → 承認

A [収入の部]	
1) 平成19年からの繰越金	1,112,843円
2) 平成20年度会費収入 (164名)	1,126,000円
3) 預金利子	767円
合 計 (A)	2,239,610円
B [支出の部]	
1) 佐賀大会運営費補助 (含む講師謝礼)	170,000円
2) 幹事会費	369,535円
3) 通信費	159,045円
4) 印刷費	
会員書作展図録	360,000円
学会誌・会報	384,300円
封筒	0円
5) 事務費 (事務補助費、会費払込手数料を含む)	43,206円
6) 予備費	45,750円
合 計 (B)	1,531,836円
(A) 総収入 - (B) 総支出 = 残高	
2,239,610円 - 1,531,836円 = 707,774円 (次年度繰越金)	

上記の通り報告いたします。
以上相違ありません。

平成21年10月23日
平成21年10月23日

事務局会計担当 柿木原くみ ㊞
監 査 大橋 修一 ㊞
岡本 直人 ㊞

資料3 平成21年度 全国大学書道学会 事業計画 → 承認

(平成21年) 5月17日	常任幹事会／三学会合同役員会（平成21年度広島大会について）
5月中旬～	広島大会第1次案内作成
5月20日	広島大会第1次案内、会員書作展出品要項、会員書作展図録、学会誌、会員票、等 発送
7月10日	広島大会研究発表応募締切日
7月28日	常任幹事会（佐賀大会、研究発表者及び発表順、会場設定、総会議事案、役員補充、査読規定等 について）
7月下旬	会員名簿整理開始
8月5日	会員書作展作品送付締切日
9月初旬	研究発表順通知
9月25日	広島大会第2次案内、発表要旨集、発送
10月14日	学会誌論文投稿申込受付締切日
10月23日	幹事会（研究発表、総会議事案、役員改選等 について）
10月24日	平成21年度広島大会（総会、研究発表、記念対談）、三学会合同懇親会19日
10月24～25日	平成21年度会員書作展
11月20日	学会誌論文投稿締切日
11月下旬～12月中旬	論文査読
12月下旬	常任幹事会（査読結果及び学会誌について）
(平成22年) 1月～2月	学会誌編集
2月中旬～下旬	常任幹事会／三学会合同役員会（佐賀大会反省、21年度広島大会について）

資料4 平成21年度 全国大学書道学会 予算 → 承認

A [収入の部]	
1) 平成20年からの繰越金	707,774円
2) 平成21年度会費収入（190名）	1,140,000円
3) 雑収入（預金利子）	800円
合 計 (A)	1,848,574円
B [支出の部]	
1) 広島大会運営費補助（含む講師謝礼）	170,000円
2) 幹事会費	
会議費	200,000円
交通費	250,000円
3) 通信費	200,000円
4) 印刷費	
会員書作展パンフレット	60,000円
学会誌・会報	500,000円
発送用封筒	50,000円
5) 事務費（事務補助費、会費払込手数料を含む）	100,000円
6) 予備費	318,574円
合 計 (B)	1,848,574円

資料5 平成21年度（佐賀大会以後、広島大会まで）新入会員・準会員／退会・退会申出者**【会 員】（7名）**

山内 常正（静岡大学非常勤講師）	中澤 功（静岡文化芸術大学非常勤講師）
杉崎 哲子（名古屋国際中学校高等学校教諭）	名部 勝美（淡海書道文化専門学校教授）
平田 光彦（岩手大学准教授）	下田 章平（筑波大学博士特別研究員）
弘中 雄太（日本習字教育財団）	

【準会員】（11名）

重友 克夫（武蔵野大学大学院修士課程／推薦者：廣瀬裕之）	土田 奈美（新潟大学大学院修士課程／推薦者：角田勝久）
福田 紗季（新潟大学大学院修士課程／推薦者：鶴田一雄）	森山 華那（福岡教育大学大学院修士課程／推薦者：坂井孝次）
井上 悠（武蔵野大学大学院修士課程／推薦者：廣瀬裕之）	海野 陽子（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤祐司）
陳 佳麟（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤祐司）	黒丸 寛子（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：橋本栄一）
河合 洋輔（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤泰弘）	西川 竜矢（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：長野秀章）
仁田幸一郎（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：長野秀章）	

【退会・退会申出者】 田中 有 加藤 信一 矢萩 喜孝 吉澤 義和

平成二十一年度 全国大学書道学会 会員・準会員一覧

相川 匡也	栃木県	東京学芸大学名誉教授	岡崎 忍	神奈川県	相模女子大学中学校部	衣川 彰人	愛知県	愛知教育大学	神野 雄二	熊本県	熊本大学
相川 政行	神奈川県	武蔵野大学	岡村 浩	新潟県	新潟大学	金 敬順	東京都	東京学芸大学大学院	水田至摩子	埼玉県	白山記念館
青木 馨子	東京都		岡本 直人	東京都	帝京大学	木村 博昭	愛知県	愛知教育大学	杉浦 妙子	東京都	二松学舎大学
青木 悟	静岡県		岡本 政弘	愛知県	九州女子大学	草津 祐介	奈良県	高野山大学	杉崎 哲子	愛知県	名古屋国際中学校高等学校
青木 辰樹	埼玉県	県立大宮光陵高等学校	小川 崇	埼玉県	県立豊岡高等学校	久澤 亮子	富山県	県立新湊高等学校	杉山 勇人	千葉県	千葉県
青戸 貴子	鳥取県	米子市立美術館	小川 貴史	新潟県	県立柏崎高等学校	久米 公	東京都	名古屋市立大学	鈴木 綾	東京都	東京家政学院大学
青山 浩之	神奈川県	横浜国立大学	小口 裕	新潟県	新潟大学大学院	熊坂 尚史	愛知県	果嶋中・高等学校	鈴木 晴彦	千葉県	長崎大学
赤江 貞夫	大阪府		小倉菊太郎	山口県	山口大学	久米 公	福岡県	福岡女子短期大学	鈴木 真理子	千葉県	了徳寺大学
赤岸 恵	神奈川県	大原簿記専門学校	小黒 哲也	新潟県	県立佐渡高等学校	倉本 優子	埼玉県	東京学芸大学大学院	須田 義樹	北海道	北海道教育大学苫小牧校
赤平 和順	東京都	大正大学	小口 かつり	東京都	上越教育大学	黒田 悟史	埼玉県	ノートルダム清心女子大学	砂川さつき	福岡県	鳥取大学
秋元 正成	福岡県	福岡教育大学	押木 秀樹	新潟県	県立大野高等学校	黒野 貞夫	愛知県	愛知教育大学名誉教授	住川 英明	鳥取県	大東文化大学
浅川 学	山梨県	徳島大学名誉教授	小田部朗子	岩手県	県立村上高等学校	黒丸 寛子	埼玉県	東京学芸大学大学院	高木 厚人	千葉県	二松学舎大学
東 國恵	徳島県	元立正大学	落石 園美	東京都	福岡教育大学	見城 正訓	静岡県	静岡大学	鷹啄 知美	埼玉県	県立妻沼高等学校
阿保 直彦	東京都	早稲田大学	小野塚雅博	新潟県	県立須恵高等学校	黄 燕峰	東京都	信州豊南短期大学	高橋美穂子	神奈川県	
綾部 宏行	東京都	県立伊奈学園総合高等学校	小原 俊樹	福岡県	県立万代高等学校	高口 盛幸	福岡県	茨城町立梅香中学校	高柳 克臣	東京都	静岡大学
荒井 和徳	埼玉県	県立伊奈学園総合高等学校	柿木 八重	東京都	相模女子大学	小浦 直人	東京都	岡山明誠学院高等学校	滝口 雅弘	東京都	専修大学
荒金 信治	大分県	別府大学	柿木 八重	東京都	愛知教育大学	小竹 良一	岡山県	香川大学	田口 尹基子	千葉県	三重県
五十嵐康子	神奈川県	麻布学園	加瀬 琴己	神奈川県	県立須恵高等学校	小西 憲一	長野県	信州豊南短期大学	竹嶋 秀聡	佐賀県	佐賀大学
池田 孝一	千葉県	志学館中学校	勝目 浩司	福岡県	県立万代高等学校	小浜 大明	茨城県	茨城町立梅香中学校	谷口 邦彦	広島県	安田女子大学
池田 利廣	大阪府	大阪教育大学	加藤 亜希子	新潟県	愛知教育大学附属豊栄学校	小林 圭	長野県	県立松本深志高等学校	田畑 理恵	東京都	岩手県
池田 史子	広島県	安田女子大学名誉教授	加藤 眞太郎	愛知県	佛教大学	小林比出代	福岡県	県立赤穂高等学校	玉澤 友基	徳島県	四国大学
池村絵美理	東京都	東京学芸大学大学院	加藤 達成	東京都	女子美術大学	小原留美子	長野県	茨城大学	千葉 理香	東京都	了徳寺大学
伊澤 遼	新潟県	新潟大学大学院	加藤 泰弘	東京都	筑波大学大学院	込谷 陽孝	東京都	福岡教育大学	陳 佳麟	福岡県	和洋女子大学名誉教授
井澤 秀彦	東京都	東京学芸大学	加藤 祐司	埼玉県	大阪教育大学	坂井 昭彦	福岡県	台东区立書道博物館	陳 天	東京都	四国大学
石井 健	埼玉県	東京学芸大学	金子 馨	茨城県	県立井口高等学校	坂井 孝次	東京都	早稲田大学高等学校	辻 尚子	北海道	北海道教育大学札幌校
石田 真弓	和歌山県	県立紀央館高等学校	加納 清一	静岡県	静岡県立大学	佐々木佑記	千葉県	安田女子大学	辻井 義昭	新潟県	新潟大学大学院
伊藤 忠綱	東京都	武蔵野大学大学院	亀石 三三	徳島県	四国大学	佐藤 英樹	新潟県	武蔵野大学大学院	土田 奈美	新潟県	新潟大学
井上 悠	千葉県	了徳寺大学	嘉屋 孝彦	奈良県	県立江田島高等学校	佐藤 雄司	東京都	東京学芸大学附属	角田 勝久	千葉県	千葉大学
海野 正浩	埼玉県	東京学芸大学大学院	萱 のり子	東京都	武蔵野大学	塩出智代美	兵庫県	静岡大学	津村 幸恵	新潟県	新潟大学
海野 陽子	埼玉県	東京学芸大学大学院	萱 のり子	東京都	武蔵野大学	重友 克夫	東京都	東京学芸大学	鶴田 一雄	新潟県	新潟大学
浦野 俊則	埼玉県	東京学芸大学大学院	河合 仁	東京都	武蔵野大学	小竹 光夫	東京都	東京学芸大学	手代木真美	新潟県	新潟大学
江島 史織	東京都	大東文化大学	河合 洋輔	東京都	武蔵野大学	清水 文博	東京都	東京学芸大学	徳泉 さち	新潟県	新潟大学
王 力軍	神奈川県	静岡大学大学院	川原 淳	東京都	武蔵野大学	下田 章平	茨城県	筑波大学	利光聖希子	福岡県	早稲田大学大学院
大菅 奈緒	静岡県	静岡大学	菊池 絵美	東京都	武蔵野大学	下田真奈美	宮城県	宮城教育大学	土橋 幸正	茨城県	比治山大学
太田 景子	徳島県	四国大学	岸野 彩子	埼玉県	武蔵野大学	白鳥ゆう子	神奈川県	都立駒場高等学校	飛田 博昭	徳島県	四国大学
太田 剛	北海道	北海道清田高等学校	北川有岐子	岐阜県	岐阜女子大学	城間 圭太	東京都	了徳寺大学	富久 和代	神奈川県	文教大学
大滝 英輔	東京都	埼玉大学	北田 聡美	岩手県	盛岡白百合学園高等学校	進藤 英幸	千葉県	了徳寺大学	豊田 和士	福岡県	四国大学
大村 貴徳	静岡県		北田 聡美	岩手県	盛岡白百合学園高等学校				豊田 和士	福岡県	四国大学
大森アユミ	長崎県	長崎大学	北田 聡美	岩手県	盛岡白百合学園高等学校				豊田 和士	福岡県	四国大学
岡田 薪子	兵庫県	武庫川女子大学	城所 正	神奈川県	横浜国立大学名誉教授				豊田 和士	福岡県	四国大学

豐田	宗兄	奈良教育大学	藤川	直人	東京都	了徳寺大学
直井	誠	岐阜県	藤瀬	礼子	千葉県	新潟大学大学院
仲川	恭司	埼玉県	平馬	孝三代	新潟県	福井県
中澤	寿郎	静岡県	法水	光雄	千葉県	了徳寺大学
中嶋	章功	東京都	細谷	菜穂子	千葉県	了徳寺大学
中嶋	章乃	東京都	細谷	恵志	新潟県	県立巻高等学校
長沼	雅彦	熊本県	本多	和宏	新潟県	
長尾	秀則	秋田県	本田	容子	東京都	大阪教育大学
長野	秀章	東京都府	前田	良彦	大阪府	元跡見学園女子大学
名野	勝美	滋賀県	牧	愛子	東京都	東京学芸大学大学院
名瀬	靖子	東京都	幕田	隆	千葉県	千葉大学
成瀬	竜矢	東京都	増田	与久	静岡県	浜松学芸高等学校
西川	竜子	静岡県	増永	久美子	熊本県	
山口	雅子	静岡県	松浦	貢	埼玉県	東洋大学
西田	健	東京都	松尾	治	埼玉県	県立羽生高等学校
西橋	靖雄	奈良県	松尾	志穂	長崎県	
西山	明美	兵庫県	松尾	秀一	鹿兒島県	鹿兒島大学
仁田	幸一郎	東京都	松清	恵子	静岡県	大東文化大学
野中	浩俊	新潟県	松永	貴子	千葉県	立命館大学大学院
信廣	友江	広島県	松本	仁志	広島県	広島大学
萩	信雄	広島県	丸山	香織	兵庫県	県立久里浜高等学校
橋本	栄一	埼玉県	丸山	由香	神奈川県	
蓮見	行廣	東京都	源川	進	千葉県	二松学舎大学
長谷川	千恵子	神奈川県	蓑毛	政雄	徳島県	四国大学
長谷川	昌弘	愛知県	宮澤	正明	山梨県	新潟大学
八長	康晴	栃木県	宮村	弦	静岡県	札幌学院大学
服部	一啓	福岡県	宮脇	玄徳	北海道	京都華女子大学短期大学部
華井	春汀	岐阜県	村井	清志	滋賀県	北海道教育大学釧路校
馬場	隆徳	新潟県	村山	昌央	北海道	新潟大学大学院
馬場	美幸	東京都	村山	真美	新潟県	茨城大学
濱田	瑞美	神奈川県	森	常雄	茨城県	広島文教女子大学
林田	俊一郎	熊本県	森	哲之	広島県	
原田	博至	滋賀県	森岡	純二	滋賀県	筑波大学
樋口	咲子	群馬県	森岡	隆	茨城県	淡海書道文化専門学校
東	賢司	愛媛県	森下	洋光	徳島県	四国大学
日比野	貞勝	広島県	森下	弘	広島県	安田女子大学
平形	精一	静岡県	守田	晃	福岡県	県立北筑高等学校
平田	光彦	岩手県	森山	華那	福岡県	福岡教育大学大学院
平原	温子	東京都	森山	秀吉	熊本県	熊本県立大学／尚絅大学
廣瀬	裕之	東京都	安原	宣悠	東京都	武蔵野大学
弘中	雄太	滋賀県	八木	亜悠	岡山県	
福島	一浩	東京都	柳澤	もこ	神奈川県	横浜国立大学附属横浜小学校
福島	紗季	千葉県	柳田	さやか	東京都	鳴友学園中学校／葛城学校
福田	佐今	新潟県	矢原	徳子	広島県	尾道大学
藤井	里恵	大阪府	山内	常正	静岡県	静岡大学
		神奈川県				

山崎真由美	東京都	都立新宿高等学校
山中映二郎	神奈川県	横浜市立大学
山本 興	島根県	県立松江北高等学校
山本 祐司	愛知県	安城学園高等学校
湯澤 聡	広島県	安田女子大学
横田 恭三	埼玉県	跡見学園女子大学
吉川美恵子	奈良県	奈良教育大学
吉澤 龍二	岐阜県	岐阜女子大学
吉田 繁	埼玉県	東京大学至学女学名誉教授
瀧藤 貴子	静岡県	
渡瀬 仁	神奈川県	
渡辺富美雄	神奈川県	
和田 圭壮	福岡県	福岡教育大学
和田 幸大	東京都	東京大学史料編纂所

平成二十二年三月三十一日現在

* 氏名を五十音順に配列し、居住地の都道府県名所属を記した。所属について、変更の申し出がないものについては昨年度の一覧に掲載したものをそのまま掲載した。

* 氏名、都道府県、所属に変更あるいは誤りがある場合、記載漏れがある場合は事務局庶務担当まで文書でお知らせください。

※ 現在、大会案内、紀要、会報等はヤマト運輸のメール便で送付しています。住所を変更された場合、転送されませんので、住所変更・転居の場合は、新たな住所・転居先を速やかに事務局・商務担当宛文書でお知らせください。正確・迅速な発送を期すために皆様のご協力をお願いいたします。

新入会員推薦のお願い並びに入会申し込みについて

会員の皆様から、新入会員（準会員）をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。裏面の申込書をご利用の上、お申し込みいただきたくお願い申し上げます。

〈入会手続き〉

*「新入会員用会票（入会申込書）」に必要事項を記入の上、事務局・会計担当（下記所在地）まで郵送またはFAX（042-743-4717）してください。

* 新入会員用会員原票（入会申込書）の受領ならびに入会年度年会費の払い込みを確認した後、常任幹事会の承認を経て、総会で新入会員（準会員）の報告をいたします。

* 年会費は、会員6,000円、準会員5,000円です。なお、大学院生（準会員）は、大学院修了後は、会員の資格として扱います。

* 送金は、事務局・会計担当まで郵便振替払込用紙（赤色用紙）をご請求いただき、郵便振替にてお願いいたします。（用紙の通信欄に、「新入会員入会年度年会費」もしくは「新入準会員入会年度年会費」と明記してください。）

* 払込先は下記の通りです。

■口座番号 00110-9-613810 ■加入者名 全国大学書道学会

〈事務局・会計担当〉〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL 042-749-1405

相模女子大学学芸学部 柿木原研究室 全国大学書道学会事務局（会計担当）

平成二十一年度

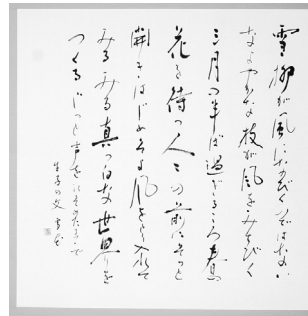
全国大学書道学会会員書作展

会期 平成二十一年十月二十四日(土)～十月二十五日(日)

会場 安田女子大学(九号館)

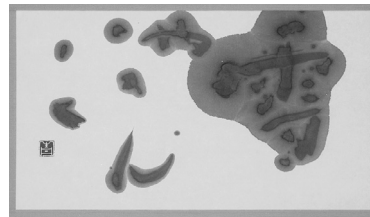
うす青い真珠―雪柳

青木雪花(武蔵野大学)

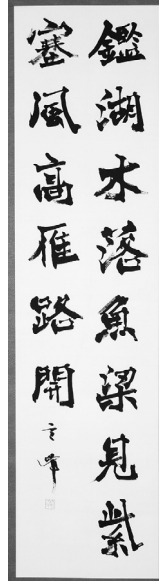


雪やこんこ

青山浩之(横浜国立大学)



王逢詩 青木雪峰(静岡大学)



深藏若虚 赤平泰処(大正大学)



静處有真楽(明 周砥) 東南光



遮二無二 井澤秀彦(恵泉女学園大学)



大原三八雄の詩「茶わん」 井上悠(武蔵野大学大学院)



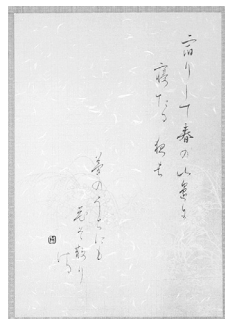
種田山頭火の句

石井健(東京学芸大学)



紀貫之のうた

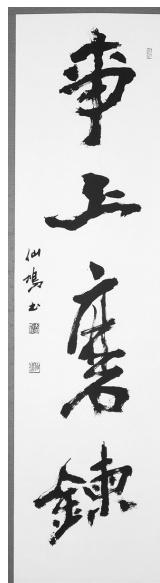
海野陽子(東京学芸大学大学院)



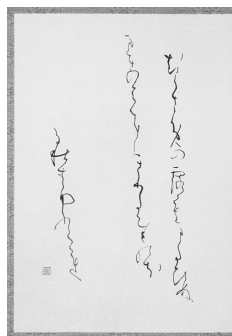
寄心清尚 小川貴史(新潟県立柏崎高等学校)



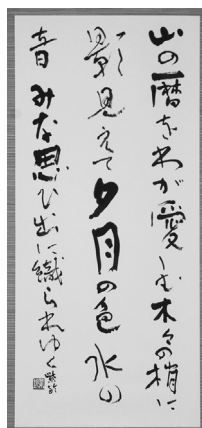
事上磨鍊(王陽明の言葉) 太田仙鳩(四国大学)



秋の夕暮れ 大森アユミ(長崎大学)



佐藤春夫詩 柿木原紫鈴(相模女子大学)



無無明 岡本直人(帝京大学)



習静

角田勝久（新潟大学）

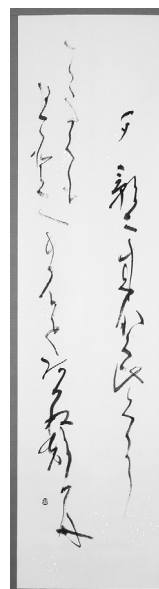


悠久

久米東郎（元千葉大学）



夕影に 久多見健堂（尚綱大学）



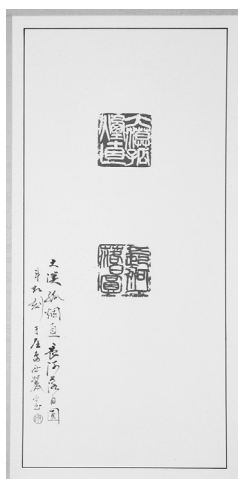
疾風知勁草 見城正訓（静岡大学）



真如 加藤東陽（東京学芸大学）



大漠孤烟直、長河落日圓 小西斗虹（香川大学）



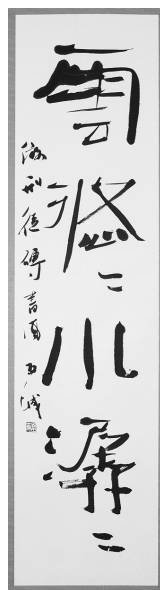
逢善風 滝口雅弘（静岡大学）



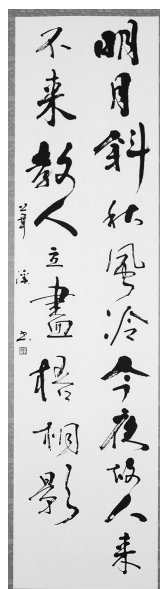
長閑 陳祥兆（東京学芸大学）



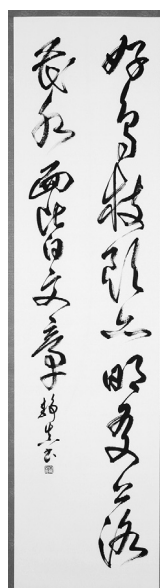
雲悠悠水潺潺 風岡五城（愛知教育大学）



呂巖詩 齊木華漢（茨城大学）



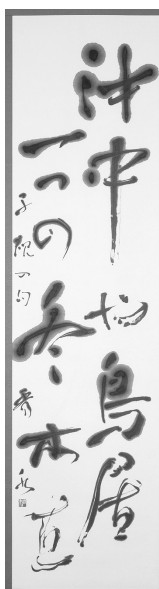
朱文公の詩 白鳥静真（立正大学）



花ぞちりしく 加藤雄繁（東京学芸大学）



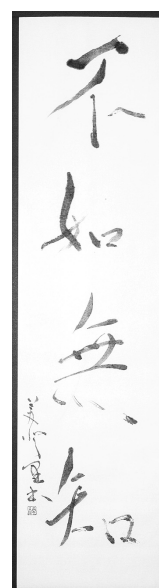
子規の句 重友秀水（武蔵野大学大学院）



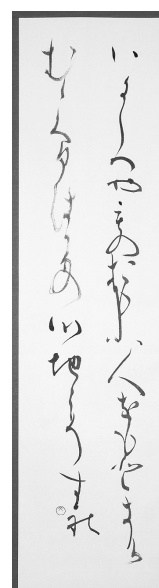
見賢思齊 神野大光（熊本大学）



宋名臣言行録 渋谷美登里



いにしへ 清水文博（東京学芸大学）



而立 杉山勇人（駒馬東邦中・高等学校）



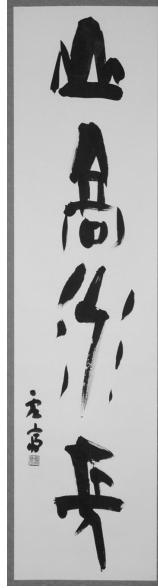
篆書五言句 谷口邦彦（安田女子大学）



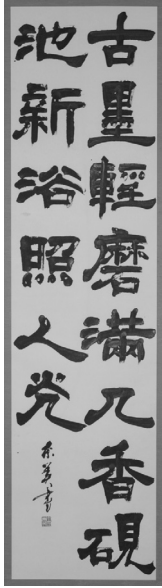
厚德載物 陳天



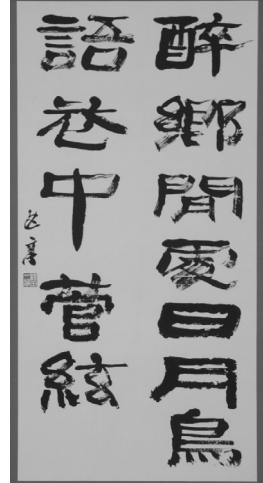
山高水長 塚本虚齋



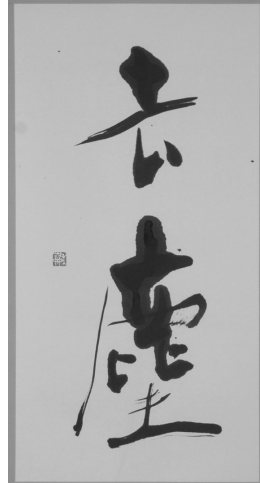
趙孟頫詩 土田奈美（新潟大学大学院）



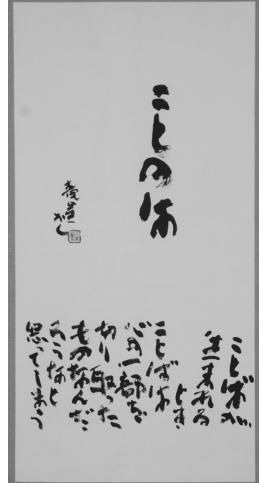
蘇軾詩 鶴田逸亭（新潟大学）



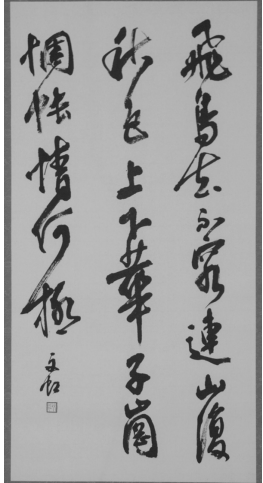
去塵 豊口和士（文教大学）



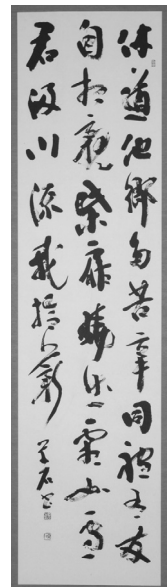
ことのは 西川竜星（東京学芸大学大学院）



華子崗（王維） 信廣友江（安田女子大学）



桂林莊雜詠示諸生 土橋草石（比治山大学）



至人無己 長野竹軒（東京学芸大学）



默

服部一啓（福岡教育大学）



瑞氣集門

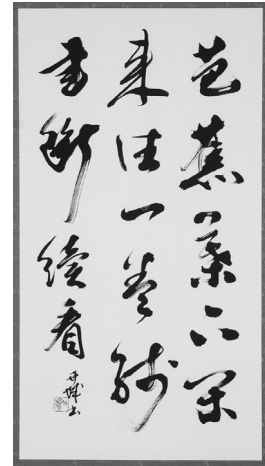
日比野桂山（広島文教女子大学）



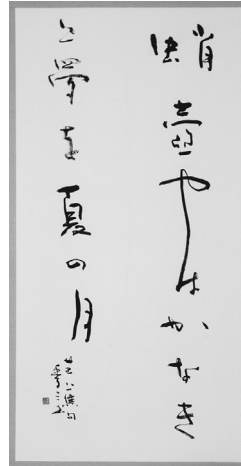
無量寿 林田俊一郎（尚綱大学）



許友詩 樋口竹城（千葉大学）



松尾芭蕉の句 平馬季三代（新潟大学大学院）



一念通天 野中吟雪



龍生金鳳子 平形精逸（静岡大学）



古別離 福田紗季（新潟大学大学院）



“素” 本田容子（目白大学）



歡誕 松本貴子（大東文化大学）



平沙薄暮獨徘徊 藤瀬礼子（了徳寺大学）



天真爛漫 本多和宏（新潟県立巻高等学校）

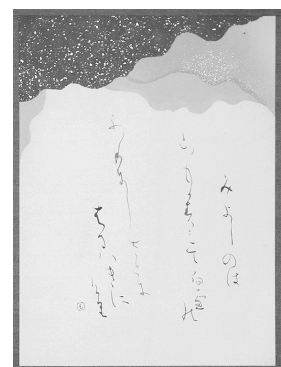


盛徳至善 森上洋光（四国大学）



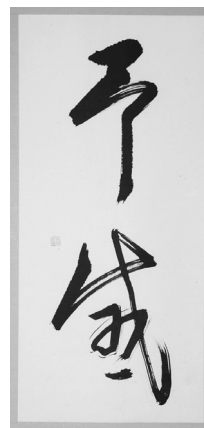
みよしのは

澤ももこ（横浜国立大学附属横浜小学校）

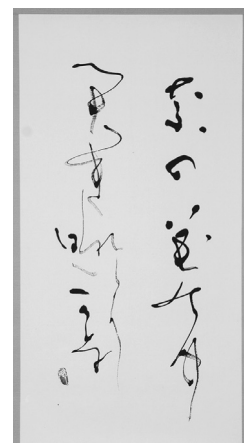


予感

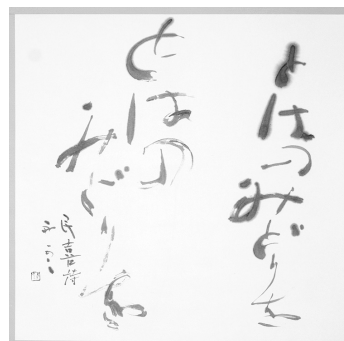
柳田さやか（友学園女子中学校高等学校）



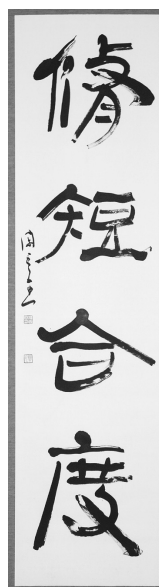
夏目漱石の句 湯澤聡（安田女子大学）



原民喜詩 広瀬舟雲（武蔵野大学）



脩短合度 横田閑雲（跡見学園女子大学）



--	--	--

全国大学書道学会 新入会員（準会員）用会員原票（入会申込書）

〔 会員・準会員 〕 どちらかに○

会員番号 ※

—

郵便番号 〒 —	
住所（自宅）	
帰省先（大学院生のみ記入） 〒 —	
ふりがな 氏 名	雅号
電 話（自宅）	（ ）
FAX（自宅）	（ ）
e-mail 自宅・勤務先	
所属機関	名称
	名誉教授 教授 准教授 専任講師 助教・助手 非常勤講師 教諭 その他（ ） 準会員：大学院 博士課程 修士課程
所在地（所属機関） 〒 —	
電 話（所属機関） （ ）	
FAX（所属機関） （ ）	
推薦者（会員）氏名	
推薦理由	
本会規約第2条に定めた資格（国公立大学・短期大学・付属学校・専門学校の書道担当教員、及び元会員）に該当する方は、推薦者及び推薦理由の記入は不要です。	

* ご記入いただいた住所・氏名等の情報は、本学会事務のために利用し、そのほかの目的では利用しません。

* 事務局〔会計担当〕 相模女子大学 柿木原くみ 宛 郵送願います。

〒252-0383 相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学学芸学部柿木原研究室内